

広島土砂災害被災地への職員派遣報告

平成26年8月20日、広島市で、74名の犠牲者と4500戸を超える家屋に被害をもたらした土砂災害が発生しました。

市社会福祉協議会では、9月16日から21日までの6日間、災害ボランティアセンターの運営スタッフとして、2人の職員を派遣しました。

派遣職員レポート 「ボランティアの喜び」

災害ボランティアセンターでは、県内外を問わず毎日約300人、週末には、1000人近くのボランティア



変わりはた被災地（緑井サテライト付近）

シアの受け入れを行っていました。

また地域住民（自治会、民生委員、学区社会福祉協議会などの役員）も、スタッフとともにセンター運営を支援していました。

被災者からは、ボランティアへの多くの感謝が寄せられる一方、ボランティアからも「人の役に立ててよかった」との声が聞かれています。

「社会福祉協議会の役割と連携」

災害現場では、被災した人、免れた人、あるいはボランティアに参加した人など、立場によって考え方も異なります。それらを丁寧に聞き取りきめ細やかにコーディネートする事は、地域に根差した地域福祉活動を展開している社会福祉協議会のボランティアセンターだから可能な事だと感じました。

また、被災者に寄り添いながら復興の手助けができるのも社会福祉協議会の特性であると実感しました。災害ボランティアセンター



安佐南区災害ボランティアセンター本部

ーでは、他市の社会福祉協議会の協力に加え、NPOの協力や地元地域の支援もありました。

被災者支援の活動には、「災害ボランティア活動の大切さ」はもちろんですが、「社会福祉協議会同士の応援体制」「他機関との連携」さらに、「地元を知る地域の人々による協力」の重要性を改めて感じました。

また、災害ボランティアセンターの運営資金は、赤い羽根共同募金の配分金が活用されており、共同募金の重要性についても再認識しました。

義援金募集

市社会福祉協議会事務局内などに義援金箱を設置しています。ご協力をお願いいたします。

	受付期間
長野県 神城断層地震災害義援金	3月31日まで
平成26年8月 丹波市豪雨災害義援金	
平成26年8月 京都府豪雨災害義援金	
7.9南木曾町 豪雨災害義援金	
東日本大震災義援金	

【問合わせ】

日本赤十字社 久留米市地区
(市社会福祉協議会内)
☎ 0942・34・3035

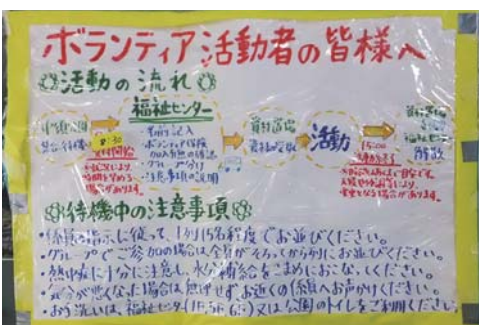
この先も災害がおこらないことを祈るばかりですが、いざという時のためにも日頃からの地域での助け合いが大切だと痛感した災害派遣でした。

「防災士などの人づくりと訓練の実施」

市社会福祉協議会では日頃の防災意識の向上、互助の力を高めるために防災士の育成を行っています。防災士は防災意識の啓発や、いざ災害が起こった時のために自助・共助活動の訓練などを行っています。

また、市社会福祉協議会は久留米市の総合防災訓練にも参加しています。今回の派遣の経験を活か

し、久留米市災害ボランティアセンター設置運営訓練や久留米市災害ボランティアセンター運営マニュアルに反映させ、より充実したものにしていきたいと思



ボランティア活動者注意事項